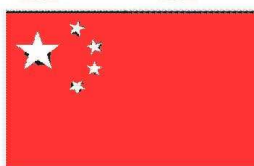
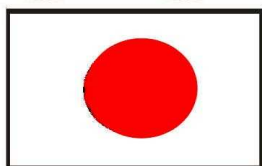


# 日中かわぐち

No.59

2019年2月11日

ホームページ  
www.k-jcfa.com



川口市日本中国友好協会  
埼玉県川口市西青木 2-4-20  
メゾン海老原 302  
048-253-2177

編集・制作 电脑倶楽部

## 第三十三回川口親子教室

中国大使館訪問  
理事長 加藤 展裕

第三十三回目を迎えた「川口親子教室中国大使館訪問」を七月二十七日に行いました。今回の訪問校は川口市立根岸小学校です。絶滅危惧種に指定された「クマガイソウ」を復活させようと住民が取り組み、校内に株を植え開花時期には「クマガイソウ祭り」として一般公開しています。



川口日中理事長

高台に位置する校内は花だけでなく昆虫を育て、自然溢れる豊かな環境の中にあります。

大使館訪問は夏休みに入るやいなや開催のため他の活動と重なることもあり参加人数を心配しましたが、

応募も順調に進み大型バスはすぐに定員に達しました。

七月二十七日(金)朝八時小学校に集合、校庭で校長先生と理事長の挨拶の後バスに乗り込みました。バスの中では恒例の子供中国語教室を開催し、挨拶や曜日、数字の発音を練習した後、子供たち一人ひとりの名前を中国語で発音する練習をしました。予想以上に皆きれいな発音でした。

午前中は千代田区の北の丸公園にある「科学技術館」で館内の見学をしてから昼食を食べ、いよいよ中国大使館へと向かいました。大使館前で潘林書記官の出迎えを受けた後、大使館内の庭を見学し、大広間で短編映画「パンダ山に帰る」を鑑賞しました。



邵宏偉一等書記官

映画終了後は汪婉大使夫人が中国に帰国している

ため、邵宏偉一等書記官の歓迎の挨拶があり、続いて根岸小学校石井校長の挨拶と続きました。

大使館職員の子供たちも加わったクイズ大会では私たちでも難しい中国に関する問題を○×で答える形で、子供たちは○か×かで大いに盛り上がりました。



石井根岸小学校校長

クイズ大会後、全員おみやげのパンダをもらい、大喜びでした。その後は軽食タイムで、皆元気よくお代わりをしました。



おやつタイム

今回の大使館訪問のお礼に根岸小学校の校歌を皆大きな声で合唱しました。



校歌合唱

そして最後に大使館の前で記念の集合写真を撮り帰路につきました。バスの中でも子供たちは元気で、疲れ気味の大人たちとは対照的でした。初めての大使館訪問を経験して外国への興味が少しでも子供たちに湧けば幸いと思えました。



第十九回

中国映画無料鑑賞会  
理事長 加藤 展裕

毎年、今年の映画会は良い映画を上映すると意気込み、中国大使館に貸していただけるリストをお願いしています。今年は五本のDVDを貸していただきましたが、映画そのものは良く海外で受賞した作品もありますが若干内容が深刻で暗い作品もありアンケートの集計から希望されている歴史物、ファミリー物、コメディ物のジャンルから外れているため再度探していただいた結果今回は『大唐玄奘』の上映となりました。



映画会入場開始

スタッフは超一流、主演の三蔵法師に中国のトップスター、黄晓明（ホアン・シャオミン）が渾身の演技

で、リアリティを加えています。東京映画祭で特別上映された作品です。

『西遊記』の三蔵法師のモデルとして知られる玄奘法師の伝記をもとに、玄奘がさまざまな困難に立ち向かい天竺（インド）まで経文を取りに行く姿と、インドでの修行や唐への帰路の姿を描いたものです。

寓話的な「三蔵法師」ではなく、人間「玄奘」に焦点を当て、壮大な風景とともに映像化している優れた作品です。監督は『山の郵便配達』のフオ・ジェンチ。

川口市日中友好協会創立四十五周年にふさわしい作品となり、来場者がギリ貧状態の現状に歯止めをかけられると期待を持ちました。各クラスにパンフレットを持つて家族、友人との来場をお願いして回りました。さらに各公民館、パートナーステーション、SKIPシテイにもポスターの依頼をしました。自宅の電話に公民館、SKIPシテイでポスターを見たときケットの依頼も入りました。市長や汪婉大使夫人からも映画会開催のお祝いのメッ

セージをいただき、後は上映を待つだけとなりました。



入場者は130名

前日から台風の間東直撃の恐れがあったという事で心配しましたが、幸いにも台風はそれが一安心。来場者の中に中国人が例年より多くやはり黄晓明の人気なのか？と思いましたが。今回来場者数もギリ貧状態に歯止めがかかる数字となりホッとしました。

しかし残念ながらすべてが順調とはいかず、映画の後半に映像が時々止まるというアクシデントがありました。映画の評価は良かったのですが止まった映像にはお叱りの言葉もありました。事前に自宅でのチェックでは問題なかったことをSKIPに報告しました。昨今の日中関係改善は映画界にも顕著に現れ、日中

合作『空海』は日中両国双方で話題となりました。中国映画を期待している人もおり中国映画が『孫悟空』以外ほとんど一般公開されない現状が変わることを期待します。そして川口市日中友好協会も更に良い映画を今後上映できるように努力していきたいと思えます。

第三十九回

中国語スピーチコンテスト  
入門幹事 林 芳男

今年から名称も「中国語スピーチコンテスト」と改め十月十四日（日）開催の応募案内が届きました。



練習通りにいったかな

入門クラスのメンバーは入門して三ヶ月、ようやく発音の基礎が終わったばかりで、スピーチコンテスト参加の話はまだ早いと思

いました。コンテストのスピーチ原稿を「にいはお」で書いていただいた入門動機をもとに先生に中文に書いていただき、皆に応募のお願いをしました。



川口日中のメンバー

ところが私の心配をよそに八名の受講生が申し込み、逆に責任を感じました。出張で授業に出られない受講生もいるため先生に読んでいただきCDにし、中文の原稿をピンイン入りにしました。後は自己練習と週一度の教室での練習です。八名もいるため全員毎週の授業で練習するわけにはいかず、先生が調整されました。週一度の授業で進歩を感じる人、もう一歩の人、一生懸命な人と様々な中、いよいよ発表当日となりました。会場は毎年同じ浦和コミュニケーションセンタ



九階です。私は主催の埼玉県日中友好協会の役割もあり、皆が早めに来て練習しているか気になり、時々練習会場を覗きに行きました。



受賞者記念撮影

いよいよ本番が始まり、発表部門の一番から八番までが川口市日中のメンバーです。あがっている様子は分かりませんが、皆思った以上にしっかりと発表しホッとしていました。一般部門に川口市日中のメンバーも加わり、総勢九名の参加、今年も川口市日中の存在感が出せました。結果は「埼玉新聞社長賞」「奨励賞」が発表部門から出ました。会場を後にして入門クラスのメンバーと先生を交えて西川口の中華料理店で慰労会を兼ねて反省会を開きました。皆様終わって一段落して楽しい会になりました。スモ更にとまりました。

第十七回

川口市ボランテニア見本市  
酒井 三三男

夜来の雨も上がり好天のもと十月十四日(日)、第十七回川口市ボランテニア見本市が川口駅東口広場で盛大に開催され当協会も昨年に引き続き出店しました。



綺麗に並んだブース

一万人を超える来場者に協会の活動をアピールすると共に当協会への参加を呼びかけ、中国語教室、日本語教室の紹介を行ないました。また、クイズラリーや、イベントとしてお馴染みの「あなたの名前を中国語で発音します」は好評を博しました。場所柄中国人が見えることもあり「中国語上手ですね」と褒められ、日頃の中国語学習の成果をいかんなく発揮しました。



あなたの名前を中国語で

加藤美智子さん、鈴木初枝さん、関根浩さん、大変お疲れ様でした。なお、当日は奥ノ木川口市長もブースを訪れ、川口市日中友好協会会員の活動を労うと共に、今後の市としての日中友好の展望を熱く語られました。今年も会員拡大に向け積極的に取り組んでまいります。

芝園公民館文化祭

に参加して

林 芳男

「芝園公民館文化祭」への参加も今回で三回目となりました。初回は中国の子供達の立派な掛け軸、二回目は山西省の写真、そして今回は過去三年間の中国研修旅行の写真と貴州省銅仁地区に建設した「友好小

学校」の開校式の写真、その他活動記録パネルなども展示しました。

前回から始めた「あなたの名前を中国語で…」のコーナーを日本語学校の受講生に手伝ってもらい、好評を博しました。



文化祭川口日中コーナー

ただ私が声を掛けた女性の半数は中国人でした。声をかけた手前、仕方なく「あなたの名前を日本語で…」と言ってお互いに笑ってしまいました。お昼は外の「たまご広場」で模擬店の肉団子スープを食べました。中国人達のバトミント「長城クラブ」のメンバーが毎年メニューを変えて作っています。そこで冗談を言いながら食べるのが毎年の楽しみとなりました。体育館内に幼稚園、小学生の絵が展示されています。

すが、名前を見ると半数が中国名でした。正に共存という表現がぴったりです。

今回は体育館のステージで「舞踏クラブ」会員の日本舞踊を見て、日本と中国の女の子の踊る姿が可愛らしく記憶に残っています。今回のステージは十八日の予定のため残念ながら見る事ができませんでした。



理事長文化祭に祝辞

「あなたの名前を中国語で…」のコーナーも予定の人数に達したため、引き上げることにしました。

翌十八日(日)に私達は「法人会祭りSKI F ぶれあいフェス二〇一八」に参加のため、展示はそのままにして今回の参加を終えました。今年はどういう形で参加しようかと考え始めています。

大盛況の法人会祭り  
本場の中国語体験  
酒井 三三男

十一月十八日(日)「法人会祭りSKIIPふれあいフェス二〇一八」に今回も出展しました。例年より暖かな気候にも恵まれ、多くの皆様が来場されました。



法人会我々の全景

当協会では「第九回親子中国語教室」と「第七回あなたの名前を中国語で発音します」を展開。加藤理事長を先頭に多くの理事・会員の皆さんが運営に取り組みました。  
親子中国語教室は約五十名が参加し、可愛いパンダの帽子をかぶった軽妙な李麗老師の授業に、大きな「你好」「谢谢」の音が賑やかに響きわたりました。



子供中国語教室

また、埼玉県日中の江森理事が作られたプレゼント用の「ふしぎな魚」が大好評で皆大喜びでした。「あなたの名前を中国語で発音します」には協会スタッフの他に、日本語教室の中国人、高さん親子、林さん親子、趙さんが対応され、本場の中国語で発音を指導しました。



あなたの名前を中国語で

中国の皆さんも来場された方と日本語で会話し、課外学習として有意義な学習の場となりました。これは川口市日中友好協会ならではの活動です。口で友

好を叫ぶだけでなく、両国民が共に手を携えて行く地についた行動こそが真に友好を促進するものと痛感しました。これらを通じ日本と中国を理解される人が一人でも多くなることを念願しています。

第六回

川口汉语角

林 芳男

六月三十日(土)に第一回「川口汉语角」を開催し、早六回目となりました。



狭い教室に一杯

その後の開催は猛烈な暑さや台風接近など天候に左右されながらも「続けることに意義がある」と言い聞かせ、毎月最終土曜日の開催を続けてきました。池袋の「星期日汉语角」に何度か行くうちに川口に

も「汉语角」が作れないかと思うようになりました。中国人は沢山いても「汉语角」に来ませんか？と声を掛けただけでは集まらないことは分かっています。



日本・中国・韓国・越南仲良く

ところがそんな悩みも日本語教室を開いたことで解決しました。毎週土曜日AM九点半〜十一点半まで開催の日本語教室に十人ほどの中国人が参加するようになり、毎月最終土曜日を中国語教室の受講生との交流会「川口汉语角」を企画しました。

第一回は三十三名が集まり、事務所に溢れるほどの参加者となりました。「川口汉语角」という名前も池袋の「段階中」氏の了解を得て付けました。現在は中国、韓国、ベトナム、

日本とさまざまな国籍の人が参加するようになりまし

た。日本人も中国語教室の受講生以外の人たちも参加するようになりました。ただ十一年の歴史ある池袋の「星期日汉语角」と違い、毎月最終土曜日の開催を会う人ごとにアナウンスし、参加していただいているのが現状です。

最近小学生の子供たちの参加も多くなり、教室も賑やかになりました。この子たちも「汉语角」に時々参加してくれます。

「テーマも規則もなく自由に来て自由に帰る」という基本を守り、毎月最終土曜日は「川口汉语角」の日と浸透するよう地道に長く続けることが大切と思います。

編集後記

昨年は西日本を襲った記録的豪雨、災害的四十℃を越す猛暑、相次ぐ超大型台風襲来、更に年末の前兆無き火山津波などに度肝を抜かれた一年でした。

川口日中ではスタッフの努力で「川口漢語角」も軌道に乗りました。今年も楽しい企画で盛りあげ、更なる発展を期待しています。